

役員立候補者等 公示 9

立候補役員名	全道理事						
(ふりがな) 氏名	せいの みつひこ 清野 光彦	性別	(男) 女	生年月日	西暦 1959年 2月 13日	年齢	57歳
勤務先名	NPO法人地域福祉支援センターちいさな手						
会員番号	1419	市町村	新得町				
主な活動歴	1993年頃より十勝地区支部の組織化に取り組み現在に至る。1999年NPO法人地域福祉支援センターちいさな手(独立系)を立ち上げ独立型社会福祉士の歩みを開始。同時期に日本社会福祉士会独立型委員会に関わり以後約10年全国で独立型社会福祉士の養成システム構築及び組織化に傾注する。日本社会福祉士会理事としては、2009年より独立型委員会委員長1期2年及び常任理事1期2年。現在北海道社会福祉士会副会長2期目。						
立候補理由・抱負	私は、社会福祉士を取得して24年になります。この間自ら既存の組織を離れ、独立した形態でソーシャルワークを展開する社会福祉士の確立を目指しつつ、全国の同志とともにその組織化に尽力してきました。私が24年の歩みの中で一貫して想い続けてきたことは、「社会福祉士の存在意義を問う」ことと「社会福祉士としての実践にこだわる」ことで、これからもこのスタイルは堅持していきたいと考えています。一方、個々の社会福祉士の「想い」を実現するためには「社会福祉士会という組織」の存在が不可欠だと思っていますし、私は、これまでの日本と北海道での経験を通してそのことを強く感じています。 組織率も減少の一途をたどり、財政状況も非常に厳しい中、難しい仕事ではありますが、より多くの社会福祉士の「熱き想いの自己実現」を後押しできるような魅力ある組織創りに取り組むことを公約とし、引き続き頑張りたいと思いますので、ご支援のほどどうぞよろしくお願い致します。						
推薦者-①	河 瀬 貴	会員番号	10058				
推薦理由	清野光彦さんは、十勝社会福祉士会設立に中心的立場として関わり、その後も、独立型社会福祉士の全国的にも先達者とし活動するとともに、ばあとなあ制度創設間もない頃より、成年後見人として社会福祉士の専門性を発揮して活動し、後進登録者のフォローアップの体制整備にも尽力しています。また、日本社会福祉士会理事としても社会福祉士の地位・資質向上に貢献されました。北海道社会福祉士会でもこれまでの経験を活かし、2期副会長として公益社団法人への移行を適切に進め、会の改革にも積極的に着手しました。清野さんの新たな事に挑戦し、開拓する発想と行動力、会員や後輩達のレベルアップを目指す姿勢、リーダーシップは大きな変革期にある北海道社会福祉士会に必要不可欠な存在です。今後さらなる会の改革と、公益社団法人として道民の福祉向上に尽力頂ける方だと確信し理事候補として自信を持って推薦いたします。						
推薦者-②	石 川 尚 樹	会員番号	30616				
推薦理由	清野光彦氏は、これまでも日本社会福祉士会、北海道社会福祉士会で理事を歴任され、その職責を果たし会の発展に寄与してきたところです。また、十勝地区支部の活動においても、利用者の利益、権利擁護を最優先に、広い視野と深い見識から我々に示唆を頂いているところです。前期も副会長と言う立場で、公益社団法人となった本会のさらなる組織強化に、高橋会長のもと我々会員の先頭に立ち活動されておりました。今回の理事選出にあたり、今期も理事として引き続き組織強化に取り組んでいただき、本会の更なる発展にその力を発揮して頂きたく、今回の理事選挙への立候補を支持し、推薦いたします。						
推薦者-③	杉 野 全 由	会員番号	3861				
推薦理由	北海道社会福祉士会十勝地区支部の活動の原点は、2000年7月に設立した十勝社会福祉士会にあります。約50名でのスタートでしたが、常に「顔の見える社会福祉士」をめざし、会員の実践報告を中心とした学習会の開催に加えて、地域の中で機会をとらえて意見を述べ、また、様々な研修会の講師を引き受けるなど積極的な活動に努めてきました。今では3倍を超える会員で構成されており、その内容も奥行きと深みがさらに増してきております。清野光彦氏は、常に社会福祉士がどうあるべきか考え、会員相互の繋がりの強化や地域における社会福祉士の役割を自他ともに問いかけながら活動しております。北海道や全国にも広い視野を持っており、全国理事の経験に加えて、これまでも北海道社会福祉士会理事(副会長)を務めており、会員の専門性向上と組織の活性化に向け今後の活躍が期待されることから、北海道社会福祉士会の理事として推薦するものです。						